

「喜連北小学校 安心ルール」

<基本的な考え方>

- 学校安心ルールは、あらかじめルールを明示することにより、子どもたちがしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができるよう促すことを目的として作成したものです。
- 子どもたちには日頃より、基本的な約束に示されたことがらを心がけることを伝え、ひとりひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えることができる、「より良い社会（学校）」をめざす姿勢をもつよう、意識の高揚を図ります。
- 第１～３段階の基本となるものは、『体罰・暴力行為を許さない開かれた学校づくりのために』の「児童生徒の問題行動への対応に関する指針」によるものです。

対応 段階	学習の時に	他の子に対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応
基本的な 約束ごと	・嘘をつかない ・ルールを守る ・人に親切にする ・勉強する				
第1段階	・理由なく授業時間におく れる	・からかう、ひやかす ・無視する ・物をかってに使う	・指導を素直に聞かない ・指導を無視する ・からかう、ひやかす	・物を大切にしない ・自分の机等に落書きする ・学校の物をかってに使う	・その場で注意 ・内容によっては家庭へ連絡 ・個別の指導 ・自己を振り返る活動
第2段階	・授業のじゃまをする ・授業に関係のない話をす る ・授業を受けずに学校内を うろつく	・仲間はずれにする ・悪口、かげ口を言う ・こわがらせるようなこと をしたり言ったりする	・指導に対して反抗する ・相手をおどすような態度 をとる ・バカにしたようなことを 言う	・学校の物をこわす ・夜に外出し、あそんだり うろついたりする ・カードやゲーム等でお金 のやりとりをする	・その場で注意 ・家庭へ連絡 ・複数の教職員による個別の指導 ・数日間の自己を振り返る活動
第3段階	・授業を平気でじゃまをす る ・テストのじゃまやカンニ ングをくりかえす ・学校を休み、校外であそ ぶ	・いやがることを無理やり させる ・暴力をふるう（プロレス技 をかけるなども） ・物を平気でこわしたり、 すてたりする	・指導に対して激しく反抗 する ・こわがらせるようなこと をしたり言ったりする ・押す、突き飛ばす、ぶつ かるなどの暴力をふるう	万引きや万引きの誘い 金品の強要など法律に違 反するようなことをする	・家庭へ連絡 ・一定期間の別室における個別指導及 び学習指導 ・関係諸機関などと連携を深め、指導 を行う。
第3段階よりも重いと思われる事象や違法行為については、学校は教育委員会事務局の担当指導主事と連携し、対応について協議をする。					

<ルール表作成上の留意点>

※この「喜連北小学校 安心ルール」の内容は、大阪市の「教育振興基本計画」に示している学校の安心・安全のための「スタンダードモデル」を、喜連北小学校の実情に合わせた内容として作成したものです。

※学校は、常に児童ひとりひとりの状況等も十分にふまえての対応を基本といたします。

※学校は、保護者のご理解・ご協力のもとに健全な育成・育みを基本とし、安心できる教育環境の構築をめざします。

※「学校等が行うことができる対応」については、あくまでも目安と捉え、事象ごとに深い状況理解のもとに、慎重且つ総合的に判断した対応といたします。